時分の会

2014年 8月31日(日)
14時開演(開場13時)
十四世喜多六平太記念能楽堂

能 **船弁慶** 真ノ伝　船中語　舟唄　早装束

シテ 友枝雄人　ワキ 宝生欣哉　アイ 野村万蔵

今、長き時を経て、この時分にこの三人がぶつかり合う

Tomoeda Takenito

Nomura Manzo

Hosyo Kinya

時分の会　2014年8月31日（日）14時開演（開場13時）

三人で会をやろう
20年間持ち続けた熱き思いが、今この時分に実現する事となりました。

おはなし　―今、その時分にある三人―　金子　直樹

…休憩10分…

能　**船弁慶**

真ノ伝
船中語
早装束

前シテ 静御前　後シテ 平知盛の霊

	友枝　雄人
子方　源義経	宝生　尚哉
ワキ　武蔵坊弁慶	宝生　欣哉
ワキ連　従者	殿田　謙吉
	御厨　誠吾
	舘田　善博
アイ　船頭	野村　万蔵
笛	竹市　学
小鼓	成田　達志
大鼓	大倉慶乃助
太鼓	小寺　佐七
地謡	中村　邦生
	長島　茂
	金子敬一郎
	内田　成信
	粟谷　浩之
	佐々木多門
	友枝　真也
	塩津　圭介
後見	狩野　了一
	佐藤　寛泰

…終了予定16：30分頃…

船弁慶　ふなべんけい

平家追討に功績をあげた源義経でしたが、平家滅亡後、兄の頼朝に疑惑をもたれ鎌倉方から追われる身となってしまいます。武蔵坊弁慶や従者とともに西国へ落ちることを決意し、大物の浦（現兵庫県尼崎市西南の港）にたどり着きます。義経の愛妾静御前も同行していましたが、弁慶の進言により都に帰すことになります。悲しむ静御前。別れの盃を受け、一行の門出を祝し別れの舞を舞い、再会を願いながら涙ながらに立ち去ります。（中入）静御前への心残りか、出発をためらう義経を促して弁慶は出航を命じます。海上に出ると、穏やかな天候が暴風雨となり、波が船に押し寄せます。すると波の上に滅亡した平家の総大将平知盛の幽霊が出現。凄惨な最後をとげた知盛は長刀を振り回し、義経一行を襲いますが、弁慶が数珠をもって一心に祈祷すると、知盛の怨霊は抵抗しながらも、やがて消え失せてゆきます。見せ場の多い、能の中でも人気の曲です。前場の静の美しい装束と舞、後場の雄雄しい知盛の立ち回りも見どころです。

＊小書

能の特殊演出のこと。今回は真ノ伝（シテ）、船中語（ワキ）、舟唄（アイ）、早装束（アイ）の四ツの小書の付いた船弁慶を上演いたします。

●真ノ伝　常の演出と異なり、前シテは義経との別離が強調される。後シテは幕の中より謡いだし、波間から知盛が現れる様が強調され謡や動きにも緩急があり、より臨場感が増す演出となる。

●船中語　後場で船を漕ぎ出してから、船頭に所望されて弁慶が一の谷の戦語りをする。頼朝の命を受けた義経の軍勢が平家追討に向かい、鵯越えの険路に分け入り、激戦の果てに敵を滅ぼしたことを語り、平家滅亡の功は義経にあると結ぶ。義経が不当な仕打ちを受けていることを家臣として強調している。

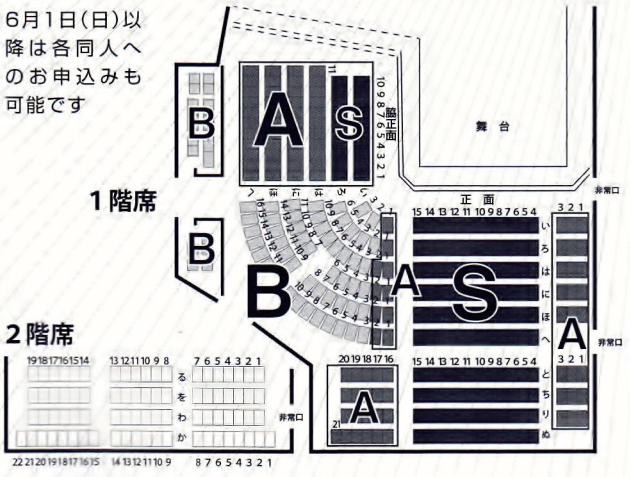
●舟唄　船出して舟を漕いでいる際、弁慶から義経への慰みに舟唄を謡うように所望された船頭が唄う演出。

●早装束　弁慶に命じられて船を出す時、船頭が幕の中で瞬時に装束を変えて出る演出。

舟唄、早装束いずれも和泉流のみにある替間。

平成26年5月31日（土）午前10時喜多能楽堂にて電話受付開始

6月1日（日）以降は各同人へのお申込みも可能です

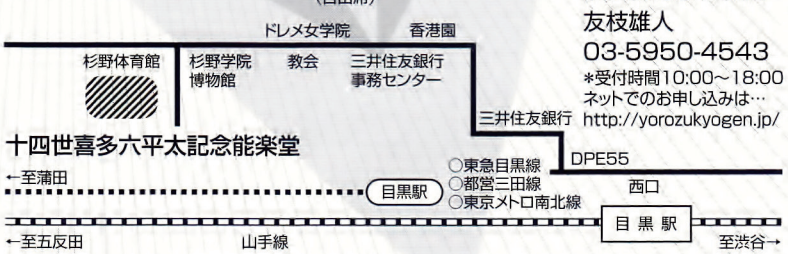


◆チケットのお申し込みお問い合わせは……

喜多能楽堂
03-3491-8813
野村万蔵（萬狂言）
03-6914-0322
宝生欣哉
03-5965-2380
友枝雄人
03-5950-4543
＊受付時間10:00～18:00
ネットでのお申し込みは…
http://yorozukyogen.jp/

料　金

S席	6.000円	A席	5.000円
B席	4.000円	2階席（自由席）	3.000円



ＪＲ線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩７分　目黒駅西口よりさくら情報システム裏手のドレメ通りを直進、杉野学園体育館手前を左に入る

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。※開演中の写真撮影及び録音は、固くお断り致します※その他やむをえない事情で出演者が変更になる場合があります。